

# JIS

X 4162  
(ISO/IEC 9541-2)

## フォント情報交換 第2部 交換様式

JIS X 4162<sup>-1993</sup>

(ISO/IEC 9541-2:1991)

(1998 確認)

(2008 確認)

平成 14年10月20日付け追補 あり

平成5年7月1日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣            制定：平成 5.7.1

官 報 公 示：平成 5.7.21

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会，社団法人 日本事務機械工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 高橋 茂）

この規格についての意見又は質問は，工業技術院標準部情報規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第15条の規定によって，少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

日本工業規格

JIS

フォント情報交換 第2部 交換様式 X 4162 : 1993

正 誤 票

ページ	位置	誤	正
5	下から8行目	―― 21ページの備考……	―― 15ページの備考……
13	下から7行目	―― 21ページの備考……	―― 15ページの備考……
21	上から15行目	―― 21ページの備考……	―― 15ページの備考……
29	上から8行目	―― 21ページの備考……	―― 15ページの備考……

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課 (☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

1999.5 日本規格協会 発行

白  
紙

## フォント情報交換 第2部 交換様式 X 4162-1993

(ISO/IEC 9541-2:1991)

Information technology—Font information interchange  
—Part 2: Interchange format

## 日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1991年第1版として発行された、ISO/IEC 9541-2 (Information technology—Font information interchange—Part 2: Interchange format) を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

**まえがき** 国際規格ISO/IEC 9541は、情報技術合同技術委員会ISO/IEC JTC 1が開発し、次の4部構成をとる。対応する日本工業規格(発行予定も含む。)を( )内に示す。これらをフォント情報交換規格群又は単に規格群という。

第1部—体系(JIS X 4161)

第2部—交換様式(この規格)

第3部—グリフ形状表現(JIS X 4163)

第4部—応用別拡張(JIS X 4164)

第1部は、フォント資源の体系を規定する。つまりフォント資源を参照し交換する際に必要な、フォント記述、フォント配置量、グリフ記述及びグリフ配置量の各属性を規定する。

第2部は、フォント情報の交換様式と、交換に必要なフォント情報の最小部分集合とを規定する。

第3部は、グリフ形状表現のための体系及び交換様式を規定する。

第4部は、応用(例えば数式組版)別拡張の際に必要な体系及び交換様式の拡張を規定する。

**0. 序文** 事務文書処理の環境でも出版文書処理の環境でも、文書交換用の開放型計算機網を使用するようになると、フォント情報を交換できるようにする機構が必要になってきた。

出版文書処理と事務文書処理との技術の統合が予想されている。それにはフォント資源の体系の規格を決め、限定された数のフォント資源交換様式の規格を規定することが、大いに寄与することになる。